



寺田ともかさん（シールズ関西）
出身校である江津の愛真高校や SEALDs（自由と民主主義のための学生緊急行動）の紹介をしながら、大学生である自身がなぜ安保法反対運動に立ち上がったのかを話しました。秘密保護法や集団的自衛権行使容認の閣議決定に疑問を抱き、調べる中で、知らなかったでは済まされないと感じたことや、これまで憲法を守りぬいた人たちがいたから今の日本があると実感したことを話しました。最後に寺田さんは、「いのちの価値をないがしろにする現政権に退陣を求めます」と訴えました。

県外諸団体からの 応援メッセージ



福山権二さん（「ストップ・ザ・安保法制」庄原市民の会事務局長）
憲法を無視した安倍政権の暴走に対して、自民党の古参議員から「何としても暴走を止めなければならない」と話があり、市民の会ができた。会には政党、労働組合、幅広い市民が参加。安保法案反対署名の取り組みでは、1週間という準備期間にも関わらず9000人を超える集会を成功させ、18000世帯中、13000人分の署名を集め国に提出した経験を報告。安保法廃止に向けさらに運動を広げる決意が語られました。



大田原俊輔さん
（鳥取県弁護士会元会長）
戦争法廃止の運動の中で、弁護士会として、憲法に基づいて政治を行う立憲主義を守ること、また市民と運動の接点になることなどが役割であると話されました。

集会のまとめ



関耕平さん
（島根大学人の会事務局）
集会のまとめで、これからの運動について、安保法制廃止2000万筆署名に取り組んでいくこと、そのために、島根でも恒常的な運動に発展できるよう組織を立ち上げていくこと、学生や青年の運動を盛り上げていくこと、司法や法曹の取り組みに期待しみんなの後押しをすること、野党共闘を盛り上げていくことなど提起されました。